

関西
ステンレス

ポスコ改定待ちも高値に天井感

(大阪) 関西地区のステンレススクラップ相場は天井感が出始めた。3月も市況はジリ高の基調を保ち、先週までに概ね5円がた続伸。2月からの上げ幅は計15円に広がったが、目先はポスコの価格改定が市況の先行きを占う判断材料の一つとなりそうだ。堅調感を保つ中だが、足元のニッケル安や韓国向けの需要にピーク感が出始めており上値の重さも意識される展開だ。

3月に入っても韓国向け輸出大手は入荷促進の観点から個別での上乗せ対応を実施してきたが、19日から安値修正の底上げを目的とした5円値上げを正式に表明。SUS304新切れの実勢中心値は190~200円見当で推移している。ただ、条件付きながら高値が200円に達したことで、天井感も意識されつつある展開だ。

指標ニッケルが1万8千ドル台から1万6千ドル台に軟化したうえ、韓国大手ミルが4月以降に2カ月にわたって定修を予定するため、ある関係筋は「需要は足元がピーク。ここからは数量を確保できた時点から高値を解消していきたい」との意向を漏らす。韓国大手ミルが今後スポット手当ての数量を絞るうえ、当面はフェ

ロニッケルの使用量を増やす方針を示していることも、弱気要因となっている模様だ。

一方で、為替の円安を背景に中国向けを手掛ける輸出筋の買い気が回復しつつある様子。一部には国内炉前と同等または上回る水準を提示する向きもあり、ある商社筋は「彼らの動向は把握しづらいが、思惑買いを含めて競合は脅威。円安が続く限り、輸出市場は下げ難い環境になるだろう」と指摘する。深刻な品薄を背景に市況は当面高止まりする公算が大きい。

LMEニッケル・ステンレススクラップ相場推移

	LMEニッケル相場 (月平均) \$/MT	LME Ni在庫 (期末/t)	ASIA・SABOT \$/MT	フェロクロム相場 高炭素品・φ/LB	為替相場 (TTS)
2022年平均・合計	25,638	55,476	1,929	189.25	132.43
2023年平均・合計	21,505	64,056	1,443	164.25	141.56
2023年8月	20,498	37,194	1,430	159.00	145.84
9月	19,629	42,228	1,430	159.00	148.73
10月	18,255	44,898	1,340	161.00	150.60
11月	16,980	46,338	1,230	161.00	150.95
12月	16,389	64,056	1,220	161.00	145.13
2024年1月	16,091	71,370	1,220	152.00	147.65
2月	16,308	72,630	1,330	152.00	150.50
3月	17,602	77,454	1,390	152.00	150.23

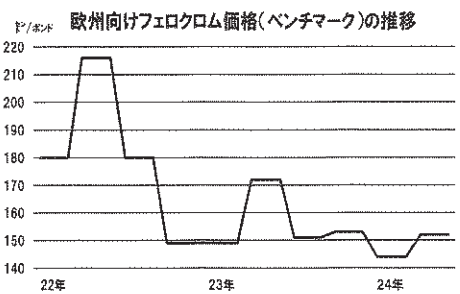
※3月は25日までの平均値

クロム 欧州向けフェロクロム価格152%に反発 4~6月5.6%高

南アフリカのフェロクロム大手メラフェ・リソシーズは25日、欧州向け24年4~6月積み高炭素フェロクロム価格が前四半期比1%あたり5.6%高の152%で決着したと発表した。前四半期に比べ8%高となり、2四半期ぶりに反発する動きとなった。

欧州地域ではステンレス鋼の需要が依然として伸び悩み、現地ステンレスメーカーの生産調整がつづく半面、産出国の南アフリカでの電力料金の高騰や海上運

賃、クロム鉱石の値上がりなどが考慮されたと思われる。日本向け価格も同様の上げ幅で決着する見込みだ。



富士興産、2年連続で

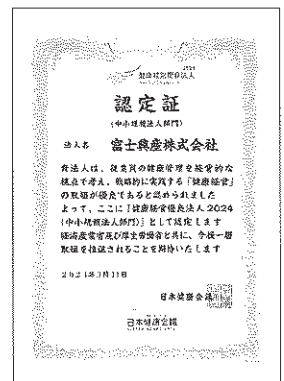
「健康経営優良法人2024・中小規模法人部門」に認定

(大阪) レアメタルやレアアースのリサイクルを手掛ける富士興産(本社=大阪市浪速区、赤嶺和俊社長)はこのほど、経済産業省と日本健康会議が推進している「健康経営優良法人2024・中小規模法人部門」の認定を受けた。認定は昨年に続き2年連続となる。

同制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰するもの。

同社は2022年3月に健康経営宣言書を作成し、認定の取得に向けて専門チームを発足。同年8月、社員の健康に対する意識を高めるため、健康ポイントアプリの導入、禁煙外来治療費の補助、プールやスポーツジムの利用費の補助など様々な取り組みを実施している。

今回は新たに設置型の健康社食サービスの導入、健康経営メールマガジンの配信、女性の健康保持や増進に向けた相談窓口を設置。これまで以上に社員の健康管理をサポートする体制を充実させた。赤嶺社長は「社員の健康に対する意識がすごく高まってきていると感じている。仕事と生活のバランスを大事にする健康経営を引き続き取り組んでいきたい」と社員の健康意識の向上を図る考えを示している。



健康経営優良法人
2024年の認定証